



1 令和3年度 穂波東校小中経営部会

7月14, 26日に開いた「穂波東校小中経営部会」で協議した内容をお知らせします。

(1) 穂波東校小中合同研究会（8月6日）について

本年度の「9年間プラン」を基に設定した「小中重点課題」（小学部・中学部の協働体制で取り組む課題）に向けて、「小中合同研究会」を立ち上げ、本格的な取組を始動させます。

以前にも本だよりで紹介しましたが、「9年間プラン」の取組は、平成25年度に小中一貫校穎田校で始まり、その後、飯塚市教育委員会の指導の下、飯塚市内全中学校区に広がった、言わば、飯塚市オリジナルの取組です。更にこの「9年間プラン」に「小中重点課題」を位置付けたのは、この穂波東校が最初です。「9年間プランがこれまで以上に自校の課題解決につながることをねらい（「生きて働く9年間プランになること」をねらい）、「小中重点課題」を位置付けました。

本年度の「小中重点課題」は、「だより4号」にてお伝えしました通り、次の通りです。

令和3年度 穂波東校「小中重点課題」

- 1 活用力の育成、基礎基本の確実な習得（二極化の解消）
- 2 不登校児童生徒の減少

この「小中重点課題」の解決に向け立ち上げる「小中合同研究会」は、「学力向上部会」と「生徒指導部会」の2部構成とし、穂波東校の先生方はいずれかの部会に所属していただきます。

所属割については、校務分掌割等を参考にしながら、経営部会にて割り振り致しました。

8月6日（15:00～）では、本年度の「小中重点課題」の解決に向け、各先生方のお知恵を頂きながら、実効性のある取組内容を構築したいと考えております。ぜひご協力をお願いします。

(2) 凡事徹底「挨拶」について

穂波東校では開校以来、凡事徹底を重点課題とし、「9年間プラン」にも位置付けながら、9カ年を通した教育に取り組んでいます。

小中経営部会では、この凡事徹底の中でも、特に「挨拶」のことが話題になりました。

各先生方も同様に感じているかもしれませんが、「進んで、元気よく挨拶できる児童生徒が少なくなっている。」ということが話題になりました。「マスクを着けていると、進んで、元気よく挨拶する気持ちに成り難いのでは。」という意見もありましたが、「もう一度、穂波東校全体で挨拶の指導をしっかりと取り組もう。」という事を確認しました。

実は先日の中学部での終業式の折、仲上先生より全生徒に対して「挨拶ができるようになろう。」というご指導がありました。特に部活生には熱いメッセージが送られました。その日の午後、筆者が部活動の様子を見に行くと、早速多くの部活生が元気な挨拶をしてくれました。

穂波東校の児童生徒は素直に先生方の指導を受け入れます。ぜひ、凡事徹底「挨拶」にこれまで以上にご指導いただきますようお願いします。